

長崎県の基盤整備事業 の効果事例集

諫 早 市：飯盛北部・南部地区	・ ・ ・ P1
島 原 市：三会原第1地区	・ ・ ・ ・ P3
島 原 市：三会原第2地区	・ ・ ・ ・ P5
雲 仙 市：山田原地区	・ ・ ・ ・ P7
雲 仙 市：溜水・妙見地区	・ ・ ・ ・ P9
南島原市：大苑地区	・ ・ ・ ・ P11
効果についての補足事項	・ ・ ・ ・ P13
長崎県資料（今後の予定地区など）	P14



平成28年11月
長崎県・長崎県土地改良事業団体連合会

基盤整備事業の効果（諫早市 飯盛北部・南部地区）

【地区概要】

飯盛北部・南部地区



【地区概要】

- 総事業費
9,768,068千円
- 工期
H8～H23
- 受益面積
A=316ha
- 受益戸数
619戸
- 工事内容
区画整理 316ha
畑かん 267ha



【営農状況】



（ばれいしょ収穫状況）



（にんじん灌水状況）



（かネーショ収穫状況）

◆本地区では主に、ばれいしょ、にんじん、かネーショ等の多品目の作物が作付されており、基盤整備事業により、営農作業の省力化が図られている。また、農地の集約及び担い手の規模拡大についても進んでおり事業効果が発現している。

【飯盛北部・南部地区における基盤整備効果の発現状況】

【導入作物の多様化】

(前)		(後)	
主な作物名	事業前(ha)	主な作物名	H26実績(ha)
春ばれいしょ	180.0	春ばれいしょ	233.1
秋ばれいしょ	66.0	秋ばれいしょ	39.0
人参	127.0	人参	140.7
大根	14.0	大根	21.8
かネーショ	5.0	かネーショ	7.3
菊	0.0	菊	1.7
かんしょ	0.0	かんしょ	0.2
生姜	0.0	生姜	4.4
いちご	0.0	いちご	1.5
かぼちゃ	0.0	かぼちゃ	0.6
きゅうり	0.0	きゅうり	0.3
その他	0.0	その他	6.4
計	392.0	計	457.0
本地面積	294.90	本地面積	247.20
作付率	132.9%	作付率	184.9%

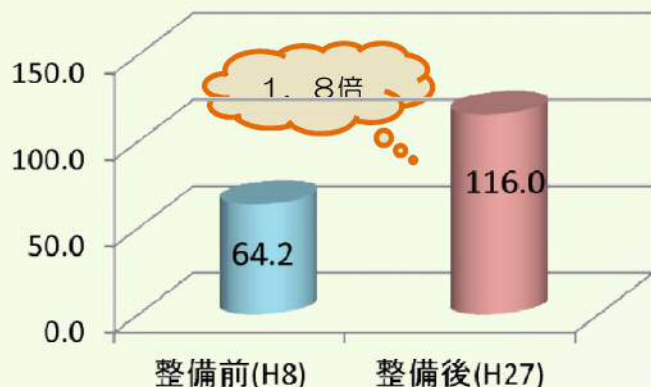
【作付率の増加】



事業前 392.0ha/294.9ha=132.9%
H26実績 457.0ha/247.2ha=184.9%
(52.0%UP)

【担い手の地区内での経営規模拡大】 ※飯盛北部・南部地区担い手 55人

※1名重複



◆担い手55人の経営面積の増
64.2ha → 116.0ha (51.8ha増)

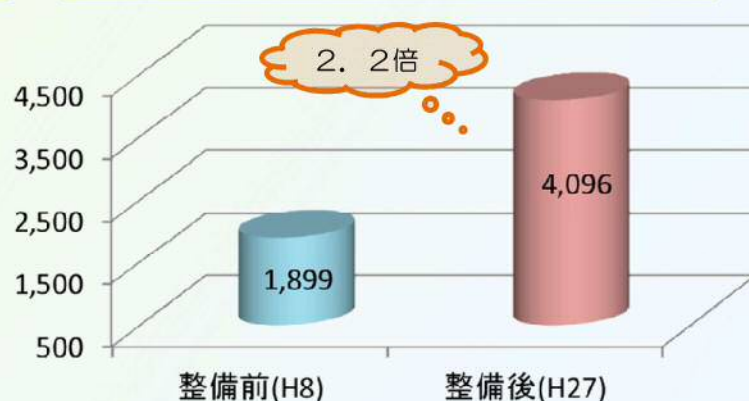
◆計画農用地面積に対する担い手のシェア
19.6% → 36.6%(17.0%増)

【農業産出額(千円/ha)の増加】



◆農業産出額の増 (4,096千円/ha)
4,685千円/ha → 8,781千円/ha

【農業所得(千円/ha)の増加】



◆農業所得の増 (2,197千円/ha)
1,899千円/ha → 4,096千円/ha

基盤整備事業の効果（島原市 三会原第1地区）

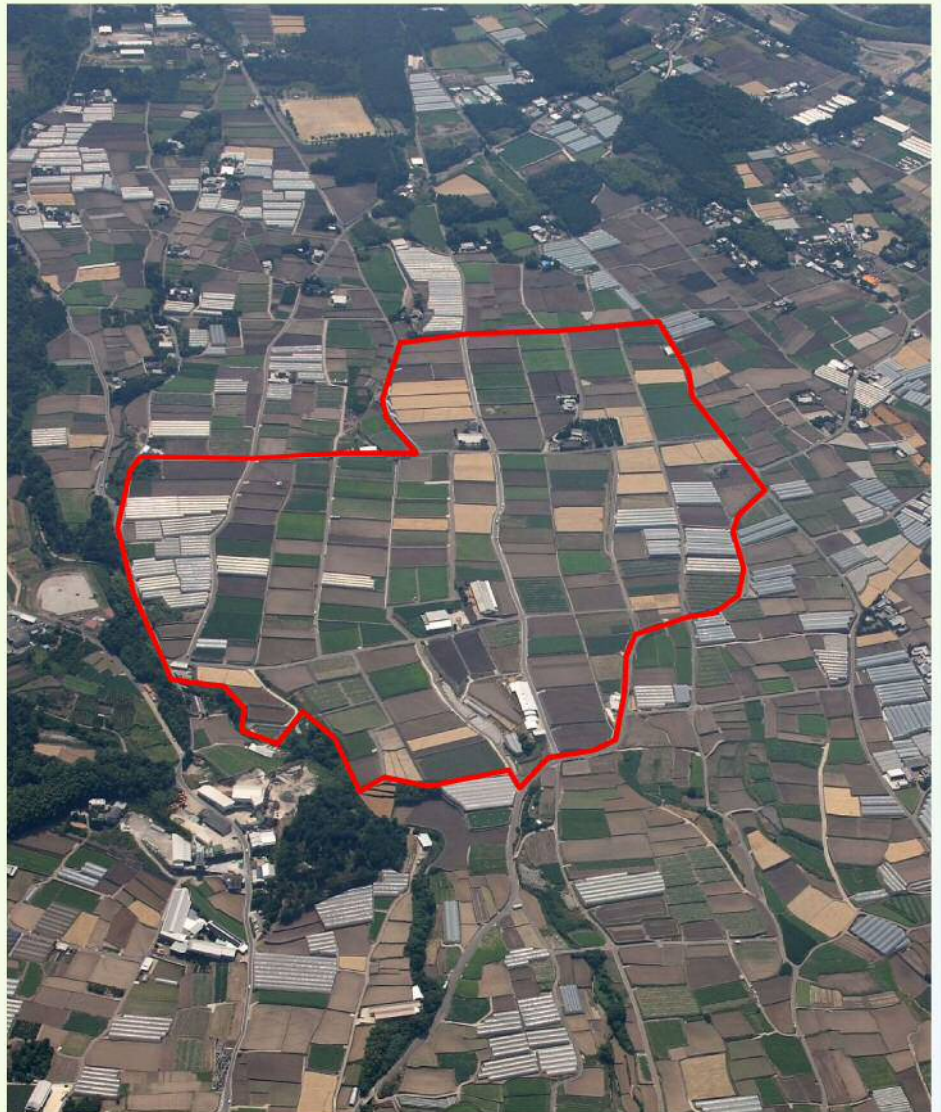
【地区概要】

三会原第1地区



【地区概要】

- 総事業費
752,000千円
- 工期
H14～H19
- 受益面積
A=35.5ha
- 受益戸数
127戸
- 工事内容
区画整理 33.7ha
畑かん 35.5ha



【営農状況】



（人参灌水状況）



（レタス収穫状況）



（生姜灌水状況）

◆本地区では主に、人参、大根、白菜、生姜等の多品目の作物が作付されており、基盤整備事業により、営農作業の省力化が図られている。また、農地の集約及び担い手の規模拡大についても進んでおり事業効果が発現している。

基盤整備事業の効果（島原市 三会原第2地区）

【地区概要】

三会原第2地区



【地区概要】

- 総事業費
867,000千円
- 工期
H20～H25
- 受益面積
A=71.7ha
- 受益戸数
216戸
- 工事内容
区画整理 29.8ha
畑かん 34.4ha



【営農状況】



（生姜灌水状況）



（大根播種状況）



（白菜生育状況）

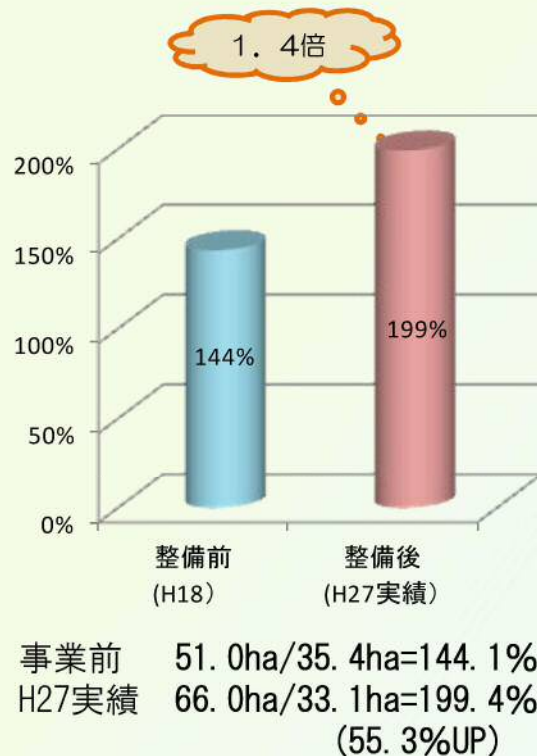
◆本地区では主に、人参、大根、白菜、生姜等の多品目の作物が作付されており、基盤整備事業により、営農作業の省力化が図られている。また、農地の集約及び担い手の規模拡大についても進んでおり事業効果が発現している。

【三会原第2地区における基盤整備効果の発現状況】

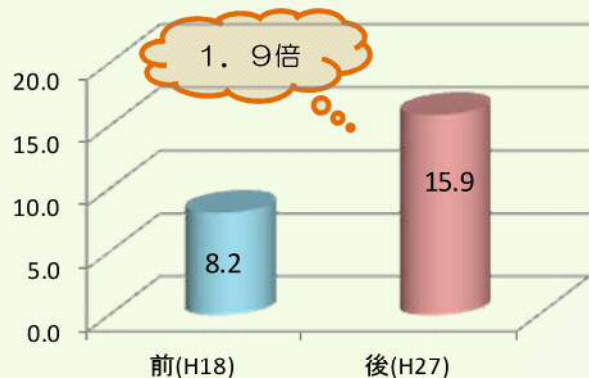
【導入作物の多様化】

(前)		(後)	
主な作物名	事業前(ha)	主な作物名	H27実績(ha)
人参	15.0	人参	24.3
大根	7.8	大根	8.1
ほうれん草	4.0	ほうれん草	1.7
生姜	2.9	生姜	4.4
スイカ	0.7	スイカ	0.0
白菜	7.7	白菜	6.5
レタス	1.8	レタス	3.3
かぼちゃ	1.4	かぼちゃ	0.0
その他	6.1	その他	0.1
その他飼料	3.6	その他飼料	0.8
		ソルゴー	13.7
		ブロッコリー	0.1
		とうもろこし	1.6
		ごぼう	1.4
計	51.0	計	66.0
本地面積	35.40	本地面積	33.10
作付率	144.1%	作付率	199.4%

【作付率の増加】

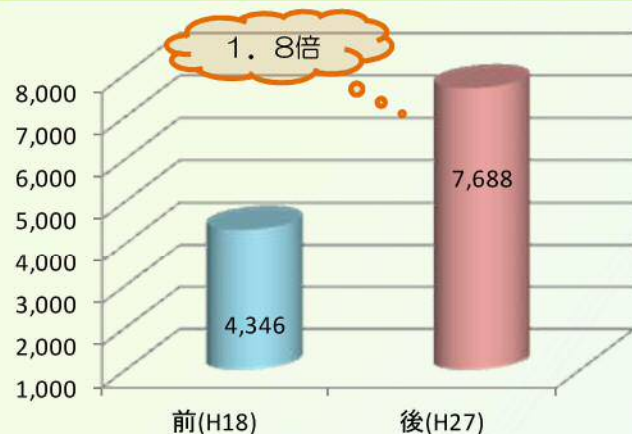


【地区内における担い手の経営規模拡大】 ※三会原第2地区担い手 18人



- ◆担い手18人の経営面積の増
8.2ha → 15.9ha (7.7ha増)
- ◆農用地面積に対する担い手のシェア
21.8% → 44.5%(22.7%増)
(農用地面積：事業前37.7ha、事業後35.7ha)
- ◆担い手一人当り経営面積の増
0.5ha/人 → 0.9ha/人

【農業産出額(千円/ha)の増加】



- ◆農業産出額の増 (3,342千円/ha)
4,346千円/ha → 7,688千円/ha

【農業所得(千円/ha)の増加】



- ◆農業所得の増 (1,379千円/ha)
1,895千円/ha → 3,274千円/ha



基盤整備事業の効果

(雲仙市 山田原地区)

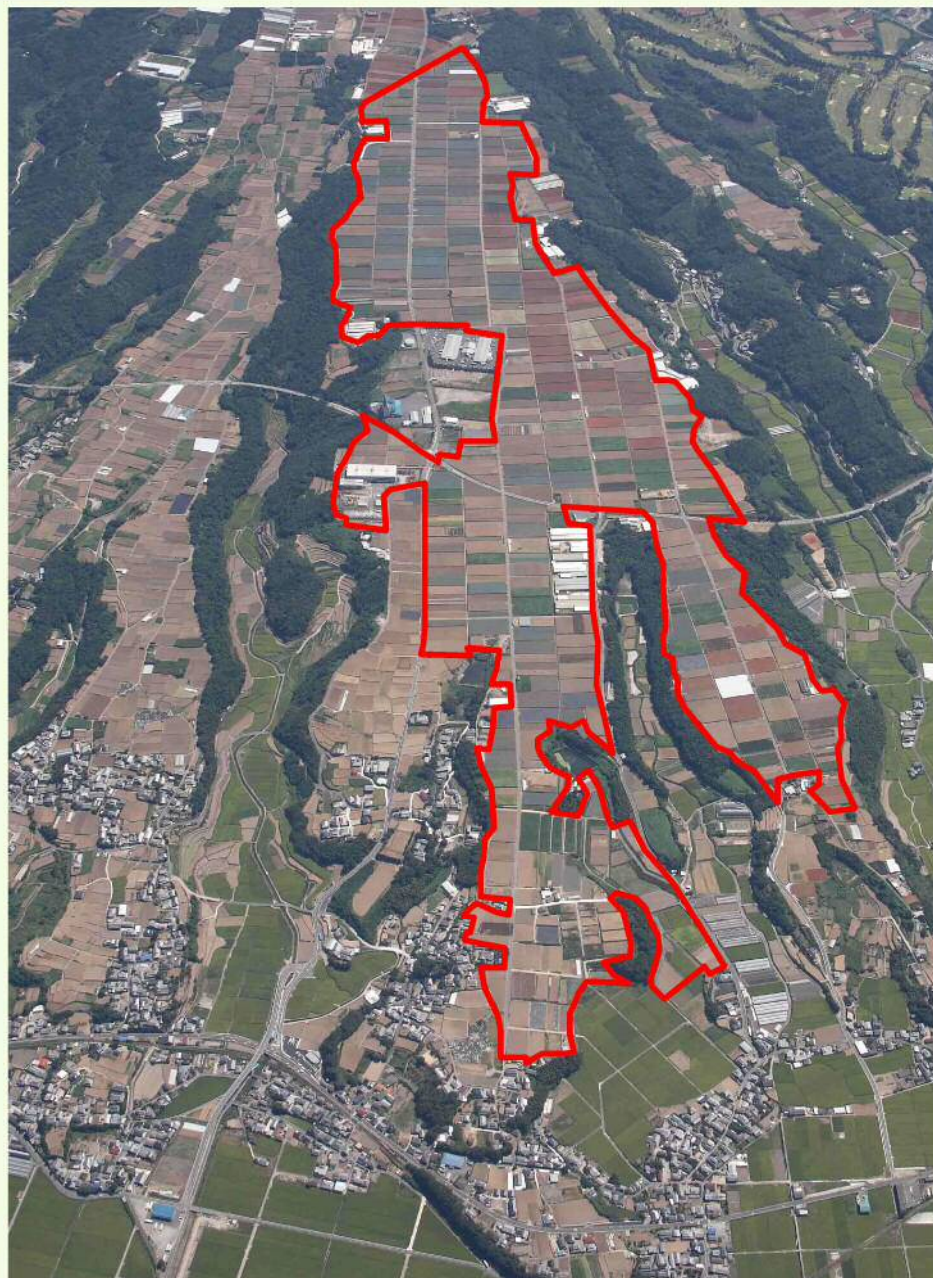
【地区概要】

山田原地区



【地区概要】

- 総事業費
3,171,256千円
- 工期
H9～H21
- 受益面積
A=99ha
- 受益戸数
334戸
- 工事内容
区画整理 99.1ha
畑かん 96.8ha



【営農状況】



(ブロッコリー)



(レタス)



(キャベツ)

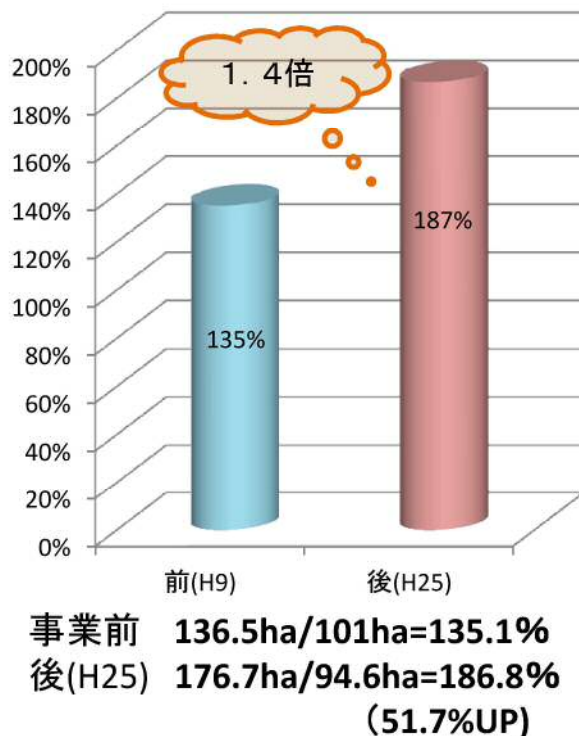
◆ブロッコリーの作付が大幅に拡大され、県下有数の産地となっている。その他レタス、玉ねぎ、キャベツなど様々な品目が作付され、基盤整備による新規作物の導入、農作業の省力化等の効果が現れている。

【山田原地区における基盤整備効果の発現状況】

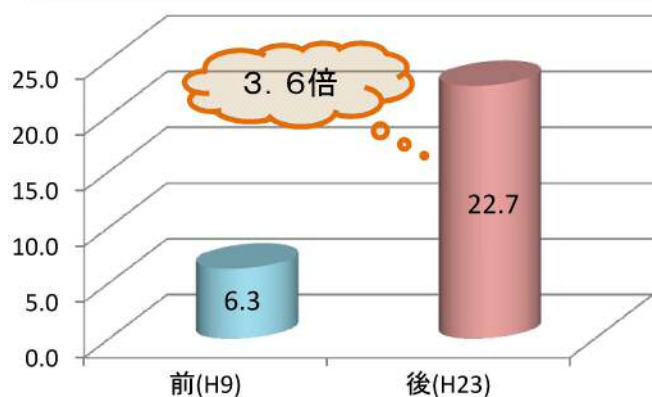
【導入作物の多様化】

(前)		(後)	
主な作物名	事業前 (ha)	主な作物名	H25実績 (ha)
水稲	1.0	水稲	0.0
ソルゴー	68.2	ソルゴー	10.1
イタリアングラス	43.7	イタリアングラス	9.3
バレイショ	23.6	バレイショ	34.2
		ブロッコリー	84.6
		キャベツ	6.7
		レタス	2.7
		玉ねぎ	5.5
		かぼちゃ	4.6
		とうもろこし	1.4
		生姜	0.3
		人参	0.8
		その他	9.7
		その他野菜	6.8
計	136.5	計	176.7
本地面積	101.0	本地面積	94.6
作付率	135.1	作付率	186.8

【作付率の増加】



【担い手の経営規模拡大】 ※山田原地区担い手 9人



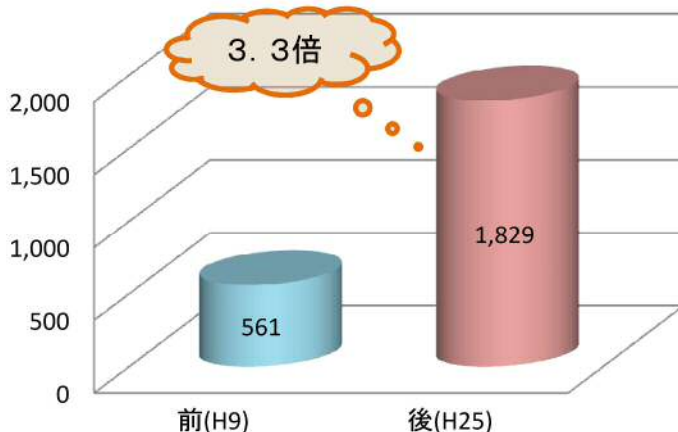
- ◆担い手9人の経営面積の増
6.29ha → 22.68ha (16.39ha増)
- ◆担い手一人当経営面積の増
0.70ha/人 → 2.52ha/人 (1.82ha/人増)

【農業産出額(千円/ha)の増加】



- ◆農業産出額の増 (2,345千円/ha)
1,953千円/ha → 4,298千円/ha

【農業所得(千円/ha)の増加】



- ◆農業所得の増 (1,268千円/ha)
561千円/ha → 1,829千円/ha

基盤整備事業の効果（雲仙市 溜水・妙見地区）

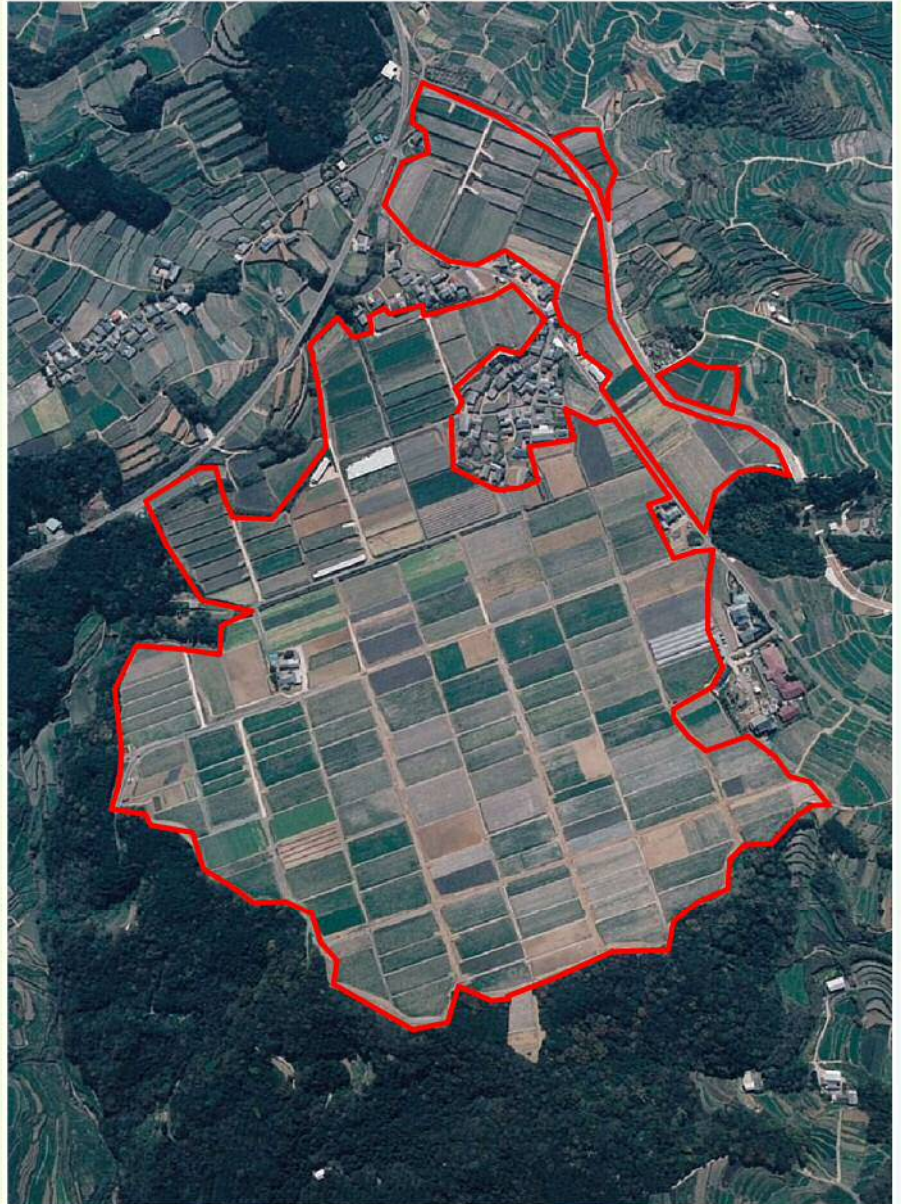
【地区概要】

溜水・妙見地区



【地区概要】

- 総事業費
1,639,300千円
- 工期
H10～H16
- 受益面積
A=43ha
- 受益戸数
112戸
- 工事内容
区画整理 43.0ha
畑かん 42.0ha



【営農状況】



（ばれいしょ）



（レタス）



（ブロッコリー）

◆事業前はほとんどバレイショの単一栽培でしたが、基盤整備後はレタス、かぼちゃ、ブロッコリーなど新しい品目が作付され、新規作物の導入、農作業の省力化等の効果が現れています。

【溜水・妙見地区における基盤整備効果の発現状況】

【導入作物の多様化】

(前)	
主な作物名	事業前(ha)
馬鈴薯	57.9
玉ねぎ	7.3
レタス	2.5
計	67.7
本地面積	41.20
作付率	164.3%



(後)	
主な作物名	H27実績(ha)
馬鈴薯	45.7
玉ねぎ	0.3
レタス	30.2
かぼちゃ	1.1
ブロッコリー	0.4
とうもろこし	0.3
キャベツ	0.6
緑肥	7.1
その他	0.1
計	85.8
本地面積	39.10
作付率	219.4%



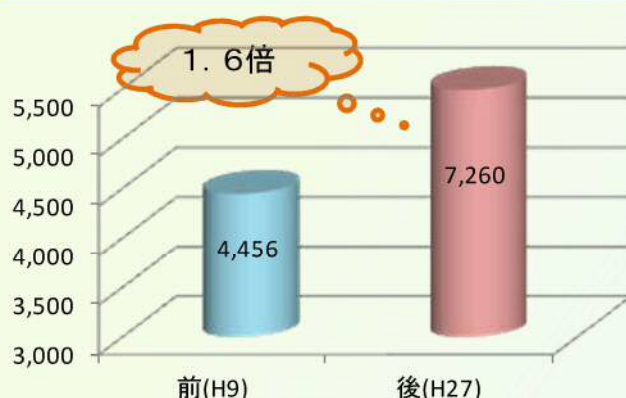
事業前 67.7ha/41.2ha=164.3%
 後(H27) 85.8ha/39.1ha=219.4%
 (55.1%UP)

【地区内における担い手の経営規模拡大】 ※溜水・妙見地区担い手 6人



- ◆担い手6人の経営面積の増
9.3ha → 12.7ha (3.4ha増)
- ◆農用地面積に対する担い手のシェア
21.4% → 29.3%(7.9%増)
(農用地面積：事業前43.4ha、事業後43.4ha)
- ◆担い手一人当り経営面積の増
1.5ha/人 → 2.1ha/人 (0.6ha/人増)

【農業産出額(千円/ha)の増加】



- ◆農業産出額の増 (2,804千円/ha)
4,456千円/ha → 7,260千円/ha

【農業所得(千円/ha)の増加】



- ◆農業所得の増 (1,236千円/ha)
1,961千円/ha → 3,197千円/ha



基盤整備事業の効果（南島原市 大苑地区）

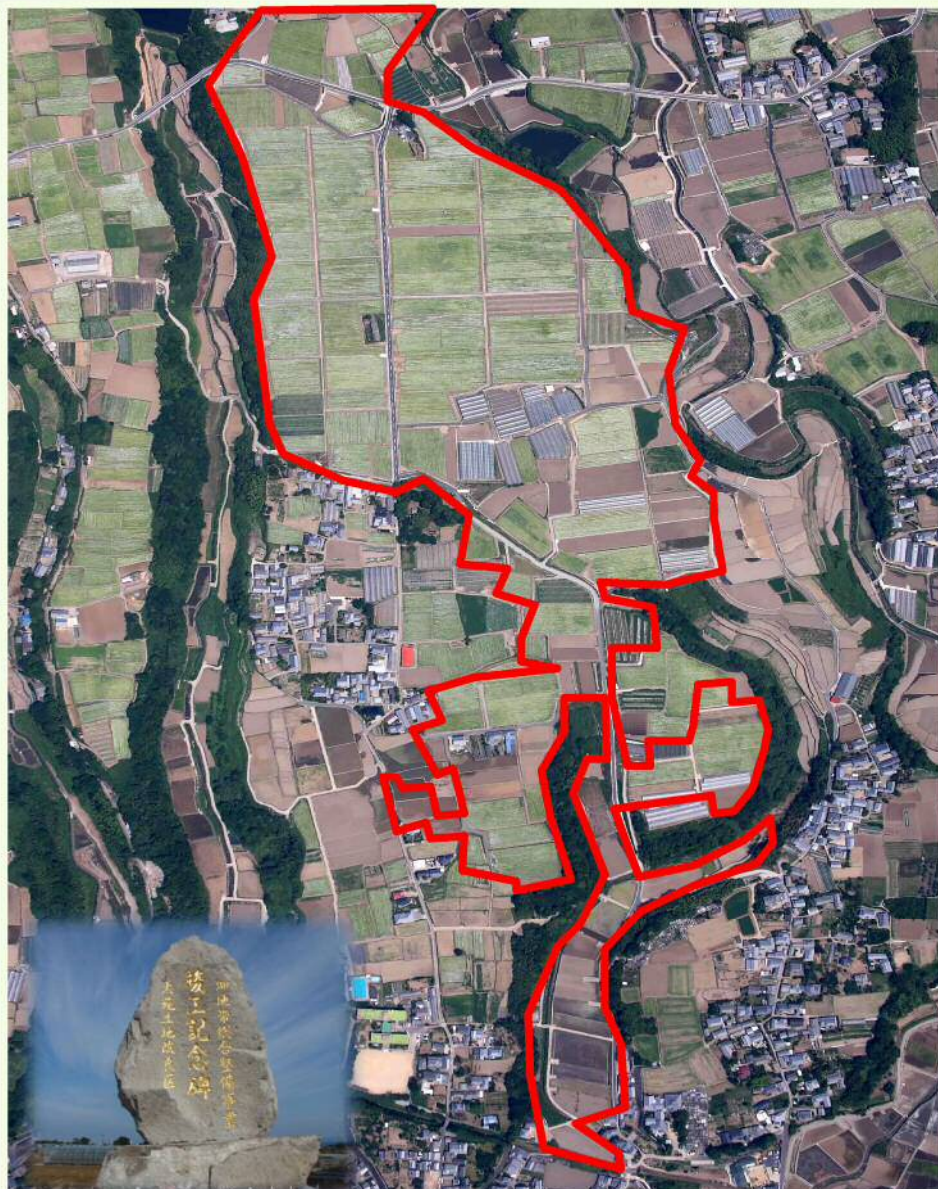
【地区概要】

大苑地区



【地区概要】

- 総事業費
1,376,000千円
- 工期
H11～H23
- 受益面積
A=35.1ha
- 受益戸数
130戸
- 工事内容
区画整理 35.1ha
畑かん 26.4ha



【営農状況】



（葉たばこ）



（レタス）



（メロン）

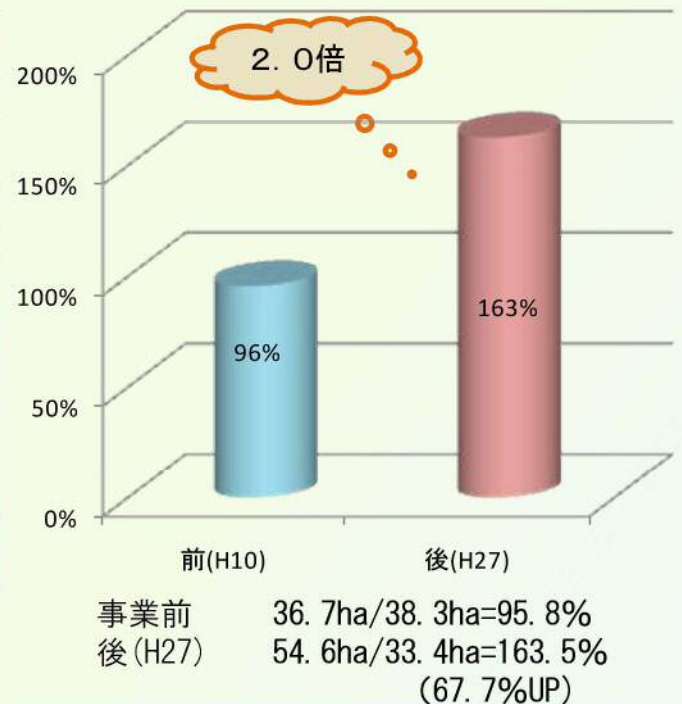
◆事業前と比較して、現在では、ごま、こきび、かぼちゃ、高菜、など様々な品目が作付され、基盤整備による新規作物の導入、農作業の省力化等の効果が現れている。

【大苑地区における基盤整備効果の発現状況】

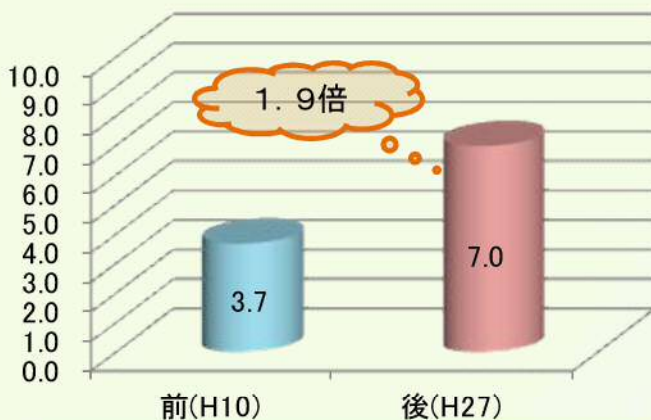
【導入作物の多様化】

(前)		(後)	
主な作物名	事業前(ha)	主な作物名	H27実績(ha)
葉たばこ	17.4	葉たばこ	15.9
水稻	9.1	水稻	7.5
ばれいしょ	5.6	ばれいしょ	3.2
大根	1.8	大根	0.0
ソルゴー	0.6	ソルゴー	2.4
白菜	0.3	白菜	0.7
メロン	0.3	メロン	1.0
大豆	1.6	スナッブえんどう	0.9
		かぼちゃ	3.2
		高菜	2.7
		玉ねぎ	0.9
		オクラ	0.2
		レタス	0.6
		キャベツ	0.3
		その他	15.1
計	36.7	計	54.6
本地面積	38.3	本地面積	33.4
作付率	95.8	作付率	163.5

【作付率の増加】



【地区内における担い手の経営規模拡大】 ※大苑地区担い手 4人



- ◆担い手4人の経営面積の増
3.7ha → 7.0ha (3.3ha増)
- ◆農用地面積に対する担い手のシェア
8.3% → 18.5%(10.2%増)
(農用地面積：事業前44.5ha、事業後37.9ha)
- ◆担い手一人当り経営面積の増
0.9ha/人 → 1.8ha/人 (0.9ha/人増)

【農業産出額(千円/ha)の増加】

【農業所得(千円/ha)の増加】



- ◆農業産出額の増 (1,616千円/ha)
2,387千円/ha → 4,003千円/ha

- ◆農業所得の増 (609千円/ha)
1,048千円/ha → 1,693千円/ha

長崎県の基盤整備事業の効果についての補足事項

地区名	総事業費 千円	受益 面積 ha	受益 戸数 戸	ha当たり 事業費 千円/ha	戸当たり 事業費 千円/戸	戸当たり 面積 ha/戸	担い手 人数 人	担い手 面積 ha	担い手1人 当たり面 積 ha/人	算出額 千円/ha	農業所得 千円/ha	算出額 千円/人	農業所得 千円/人	摘 要
飯盛	9,768,068	316.0	619	30,912	15,780	0.51	55	116.0	2.11	8,781	4,096	18,520	8,639	畑作中心、地区外耕作有 後継者有40人
(地区外含む)							55	156.5	2.86	8,781	4,096	25,114	11,715	
三会原第1	752,000	35.5	127	21,183	5,921	0.28	12	10.1	0.84	7,084	3,177	5,962	2,674	畑作中心、地区外耕作有(ハウス) 後継者有9人
(地区外含む)							12	35.8	2.98	7,084	3,177	21,110	9,467	
三会原第2	867,000	35.4	216	24,492	4,014	0.16	18	15.9	0.88	7,688	3,274	6,791	2,892	畑作中心、地区外耕作有(ハウス) 後継者有14人
(地区外含む)							18	43.9	2.44	7,688	3,274	18,759	7,989	
山田原	3,171,256	99.0	334	32,033	9,495	0.30	9	22.7	2.52	4,298	1,829	10,831	4,609	別途水田、地区外耕作有 後継者有9人
(地区外含む)							9	42.8	4.76	4,298	1,829	20,458	8,706	
溜水・妙見	1,639,300	43.0	112	38,123	14,637	0.38	6	12.7	2.12	7,260	3,197	15,367	6,767	畑作中心、地区外耕作有
(地区外含む)							6	20.4	3.40	7,260	3,197	24,684	10,870	
大苑	1,376,000	35.1	130	39,202	10,585	0.27	4	7.0	1.75	4,003	1,693	7,005	2,963	水田、畑作、地区外耕作有 後継者有4人
(地区外含む)							4	10.3	2.58	4,003	1,693	10,328	4,368	

飯盛	畑作中心の地区であるが、地区外に水稻(飯盛開地区)を耕作している者もいる。地区外の畑を借りて耕作している者もいる。
三会原第1	畑作中心の地区であるが、地区外に耕作している者もいる。既存のハウス施設の部分を地区外として整備している。 第1～第4地区まで計画があり、重複受益者がある。
三会原第2	
山田原	下流域に水稻(吾妻地区)を耕作している者もいる。現在実施中の山田原第2地区の受益者と重複受益者がある。
溜水・妙見	地区外に畑を所有、耕作している。
大苑	地区外に畑を所有、耕作している。

農業農村整備事業（農地の基盤整備）について

基盤整備の必要性

- ・生産性の向上や農地集積、農家の経営規模が拡大。
- ・用排水施設の整備により、高収益性作物の栽培が可能となり、農家所得が向上。
- ・担い手農家の確保や後継者育成につながる。
- ・中山間地域が多く整備が遅れており、今後も整備が必要
- ・基盤整備地区の隣接地区にも気運の高まり。

基盤整備（畑地帯総合整備事業）の優良事例

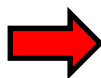
●飯盛地区（A＝316ha）

☆ 県内トップクラスのばれいしょ、にんじん産地へ成長

春ばれいしょの
H27販売高22億円



(整備前)



(整備後)

○担い手の経営規模の拡大

整備により平均経営面積が1.8倍に増加
1.17ha (H8) → 2.11ha (H27)

○土地利用率の向上

基幹作物の作付拡大や新規作物導入など
土地利用率は1.4倍に増加
133% (H8) → 185% (H27)

○担い手の確保

担い手は55名（平均年齢57歳）
うち後継者が育成された農家は30名

○農業所得の向上

整備後、農業所得が2.2倍に増加
1,899千円/ha (H8)
→ 4,096千円/ha (H27)

○担い手（C）経営面積4.52ha

作物	作付面積 (ha)	
	整備前	整備後
ばれいしょ(春)	2.01	4.34
にんじん(冬)	0.79	2.10
だいこん(秋冬)		1.47
計	2.80	7.91
粗収益額 (千円)	7,763	33,071
農業所得 (千円)	3,416	14,551

4.26倍

本県の新規要望状況

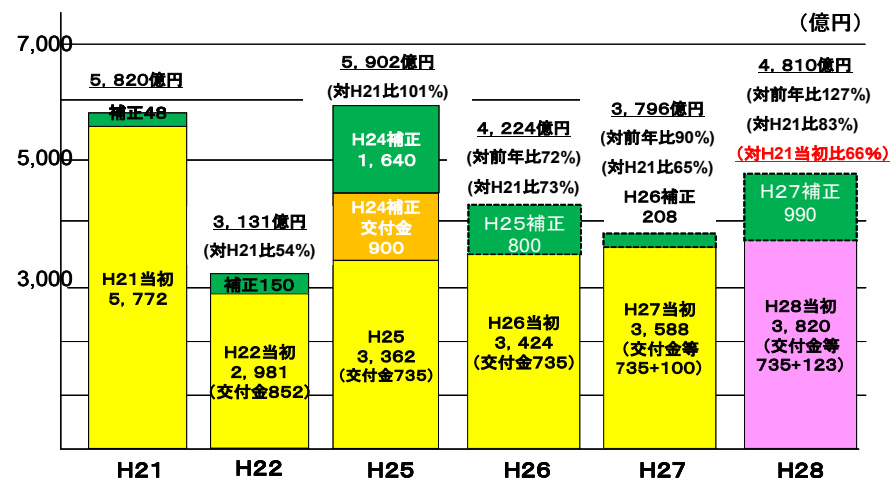
H27～H31新規要望箇所数

三会原第4地区(島原市)、白崎地区(西海市)など
23箇所 1,180ha

うちH29新規申請予定地区

正久寺地区(諫早市)、桃山田地区(雲仙市)
宮田地区(雲仙市)、駄野地区(波佐見町)
向月地区(平戸市)、寺脇地区(五島市)
6箇所 334ha

国の予算の推移



農業農村整備関係事業の
当初予算での十分な確保が必要

H27~H31 基盤整備(区画整理)事業 予定位置図

